

## 2

### 思いやりのデザイン

① 「思いやりのデザイン」を読んで、それぞれの段落の大切なところを短くまとめましょう。

(例)

段落	大切なところ
①	伝えたいことを、絵や図、文字を組み合わせて見える形にしたものを、インフォグラフィックスという。
②	インフォグラフィックスを作るときに大切にしているのは、相手の立場から考えるということである。
③	どこにどんな建物があるかを、誰が見ても分かるように書いた案内図は、多くの人に役立つが、目的地が決まっている人には目印が多すぎる。
④	特定の目的地までの道順と目印だけを示した案内図は、そこへ行きたい人には分かりやすいが、街全体を知りたい人には十分でない。
⑤	インフォグラフィックスを作るときには、相手の目的に合わせて、どう見えると分かりやすいのかを考えると、デザインすることが大切である。

② 同じようなことが書かれている段落と、対比しながら説明している段落を見つけて、整理しましょう。

同じようなことが書かれている段落 ○(②)段落と(⑤)段落 ○書かれていること 相手の立場や目的に合わせてどう見えると分かりやすいかを考えながらデザインすることが大切ということ。	対比しながら説明している段落 ○(③)段落と(④)段落 ○書かれていること Aの案内図とBの案内図のそれぞれの良い所と良くない所。
--	--